

第2回『EPD、CFP』勉強会 「日本サッシ協会における取組」

一般社団法人 日本サッシ協会
環境対策部会

今泉 直人：(株) LIXIL
赤松 毅史：不二サッシ(株)
田中 晶全：日本サッシ協会

- 日本サッシ協会について
- 日本サッシ協会における「窓・サッシ」のPCR策定について
- 主要会員の取組について
 - ・ (株)LIXILの取組
 - ・ 不二サッシ(株)の取組
- 日本サッシ協会での取組について
 - ・ 業界代表データ（CFP）算出への対応
- まとめ

日本サッシ協会について

■団体名称：一般社団法人 日本サッシ協会 設立1947年(昭和22年)

■会員構成：会員社数 262社

当協会は、サッシ・ドア製造業を代表する団体として、製造から流通・施工に至るまで幅広い事業者を会員として擁しています。

会員種別	企業数	主な事業内容
正会員	81社	製造業者
準会員	45社	〃
賛助会員	33社	-
小計（製造・関連）	159社	
流通幹事会員	103社	住宅サッシの代理店・流通店
合計	262社	

■取扱い製品

定款では、「サッシ、ドア、シャッターその他の開口部用建材及びエクステリア（以下“開口部用建材等”という）に関する各種対応」と定めています。

実際には、「サッシ・窓シャッター、ドア」の製品を生産している会員で構成しています。

日本サッシ協会における 「窓・サッシ」のPCR策定について

市場要求の高まりにより2017年4月より「窓・サッシ」のPCR（プロダクトカテゴリールール）の策定開始

勉強会	2016年9月29日	SuMPO（当時は産環協）による環境ラベル勉強会	EPDの活用事例、日本や海外の動向、PCR策定とEPD算定方法を学ぶ
	2017年4月1日	PCR策定計画の策定	PCR策定のためのスケジュール等を決定
PCR策定ワーキンググループ会議	2017年4月19日	PCR策定WGキックオフ	SuMPOへ出向き、詳細な策定方法を学ぶ
	2017年6月14日	技術委員会にてPCR策定の説明	「窓・サッシ」のPCRを策定する方針を承認
	2017年6月23日	ワーキング会議募集締め切り	日本サッシ協会以外の参加希望団体・企業なし
	2017年7月21日	第1回PCR策定ワーキング会議	PCR策定ガイドと原単位IDEA及びフロー図の理解
	2017年9月4日	第2回PCR策定ワーキング会議	PCRたたき台に対する課題の洗い出しと意見交換
	2017年11月30日	第3回PCR策定ワーキング会議	PCR修正案の追加修正及び試算結果の確認
	2018年1月26日	第4回PCR策定ワーキング会議	PCR最終案の確認と申請及び公開について検討
PCR申請とレビュー	2018年2月16日	PCR申請	SuMPOへPCR申請書をメールにて送付
	2月23日～3月23日	レビューと回答（3回）	レビューアや事務局からの質問に対して回答
PCR公開	2018年3月27日	PCR合格と公開	SuMPOからの合格連絡とホームページでの公開

※費用は、コンサルタント費用としてWG会議2時間×4回で約20万円、EPD算定プログラムレンタル費用5万円程度

「窓・サッシ」PCRの改定

2019年10月1日、2022年4月1日、2023年1月6日、5月10日と4回の改訂は、全てSuMPO事務局の都合によるもの

◇ (株) LIXIL

・プローゼ シーガル ウィンドウ	2023/07/03 (2018/07/20) JR-AD-23002E
・プローゼ シーガル ステップ	2023/07/03 (2018/07/20) JR-AD-23003E
・アルミ形材「PremiAL (プレミアム) R70	2025/09/17 (2022/12/15) JR-AD-22001E-B
・アルミ形材「PremiAL (プレミアム) R100」	2025/09/17 (2023/09/06) JR-AD-23001E-B
・PremiAL	2025/09/17 SuMPO-EPD-2508-1-1

◇ 不二サッシ (株)

・建材用アルミ形材	2025/06/02 JR-AD-25002E
・再生低炭素アルミ建材 ReサッシR100	2025/12/26 SuMPO-EPD-2512-47-1

◇ YKK AP (株)

・ビル用アルミ形材	2023/10/31 JR-AD-23004E
・ビル用樹脂形材	2024/12/27 JR-AD-24002E
・アルミ形材 (リサイクル率100%)	2025/05/12 JR-AD-25001E

主要会員の取組について
～ (株)LIXILの取組 ～

ホールライフカーボン削減に向けたLIXILの取り組み

エンボディドカーボン削減に貢献する取り組み

アルミリサイクル



PremiAL

樹脂リサイクル



樹脂窓 EW

プラスチックリサイクル



revia

Scope1,2,3低減による製造時の環境負荷低減への貢献

Scope1

Scope2

Scope2

Scope3

廃棄物削減



燃料転換

ワサットPPA

PVロールスクリーン

アルミリサイクル

廃棄物有価物化

オペレーショナルカーボン削減に貢献する取り組み

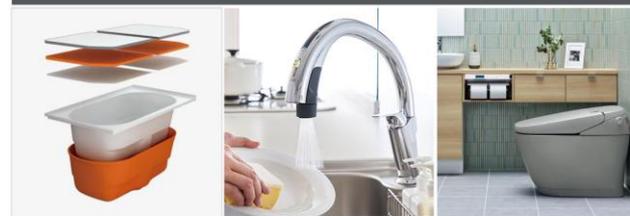
住宅の高断熱化



高性能断熱窓・ドア

高性能住宅工法

省エネ製品



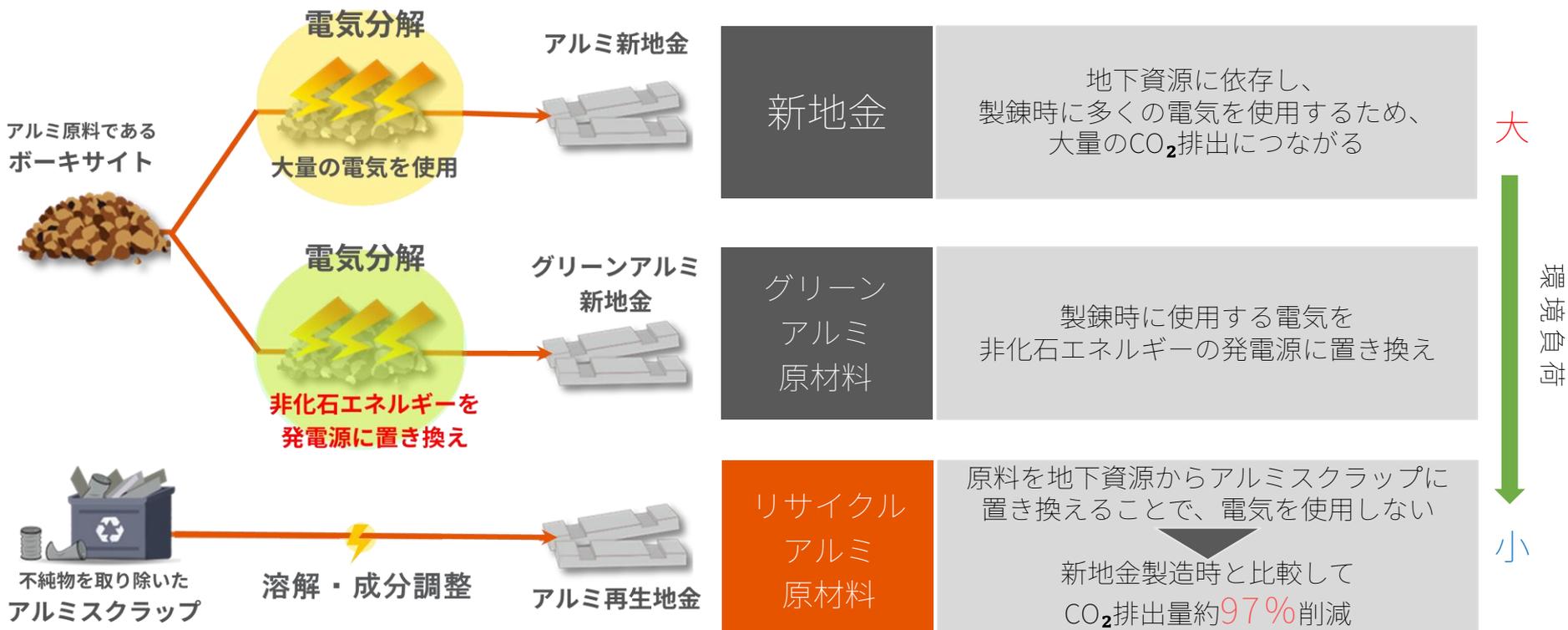
断熱浴槽

節湯水栓

省エネトイレ

エンボディドカーボン／オペレーショナルカーボン削減に貢献する取り組みを両輪で推進

リサイクルアルミの有用性



環境的価値がより高いリサイクルアルミの使用比率を高め続けることで、低炭素社会実現へ

EPD取得の背景・狙い

背景

- ・ 欧州を中心にLCAによる情報開示が進んでおり、日本にも波及
- ・ ビル業界を中心に、建材のEPD提示の要望/必要性の高まり
- ・ カーボンニュートラルに向けた低炭素建材の需要の高まり

狙い

- ・ 最終製品ではなく汎用性の高い建材EPDの取得
(単位：重量・面積・立米などの中間財)

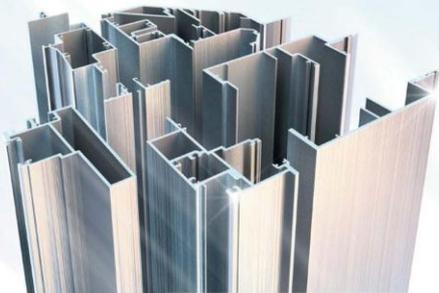
リサイクルアルミを活用した低炭素製品の開発に成功 ⇒ 中間財（形材）でのEPD取得へ

循環型低炭素アルミ「PremiAL (プレミアム) 」シリーズEPD取得

日本サッシ協会で作成した窓・サッシのPCRを基に、
2022年にリサイクルアルミ使用比率70%の「PremiAL R70」、
2023年に100%の「PremiAL R100」のEPDを取得し、**非住宅中心に一部対象製品で展開**

廃材のない、新たな循環の未来へ。

循環型低炭素アルミ
PremiAL R70
Recycled Low-Carbon Aluminum
LIXIL



ビル・店舗用サッシ
カーテンウォール
産業品
公共エクステリア

SuMPO EPD JAPAN VERIFIED
アルミ形材製造・組立加工までの
CO2排出量：6.8 kg-CO2eq
製造工場：全工場

廃材のない、新たな循環の未来へ。

循環型低炭素アルミ
PremiAL R100
Recycled Low-Carbon Aluminum
LIXIL



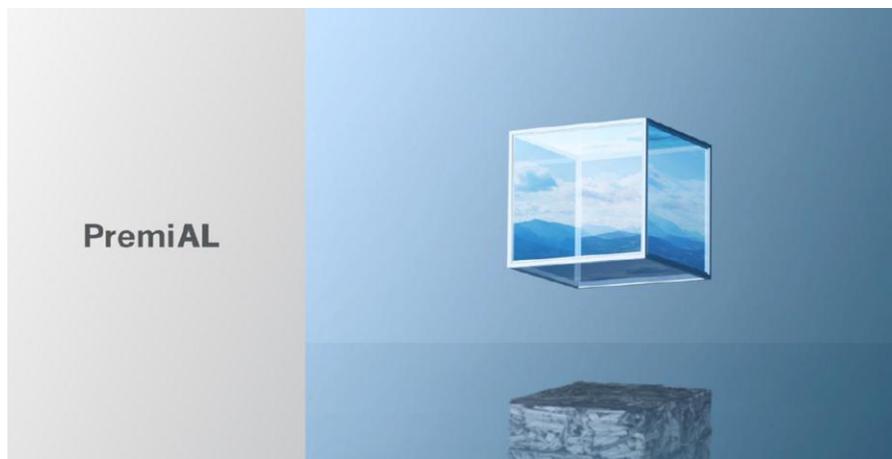
ビル・店舗用サッシ
カーテンウォール
産業品

SuMPO EPD JAPAN VERIFIED JR-AD-23001E-B
アルミ形材製造・組立加工までの
CO2排出量：2.9 kg-CO2eq
製造工場：全工場

日本で初めて、リサイクルアルミ使用比率100%のビレット量産化を実現

循環型低炭素アルミ「PremiAL (プレミアム)」シリーズEPD取得

お客様から全てのアルミ商材でのEDP取得の要望があり、
国内外全てのアルミ製造拠点でPremiAL製造の目途が整ったため、
2025年9月にCO₂排出量50%削減の「PremiAL」のEPDを取得し、価格据え置きで標準展開



2025年9月17日より公開

LIXILが製造したすべてのアルミ形材が対象

アルミ形材製造・加工組立
までのCO₂排出量
(アルミ1Kg当たり)

7.1 kg-CO₂eq

第三者検証
「SuMPO EPD」取得 ※1



CO₂排出量削減率 ※2
(新地金100%アルミ形材比)

約 50 %削減

LIXILが製造したすべてのアルミ形材を対象に「SuMPO EPD」を取得

LIXILのEPD取得体制、コスト、スケジュール

・ EPD取得体制



・ EPD取得コスト

IDEAライセンス+算定ツール+検証料で100万程度 (人件費除く)

・ EPD取得スケジュール



トータル
4~5カ月程度
(過去の経験有)

PCRについては窓・サッシ以外にも展開するため建材Core-PCRを使用

・ 苦労した点

初回はデータ収集に最も時間がかかる (原単位と収集単位を揃える必要)
直近検証申請書が改定されており記載項目増

EPD取得については、コストと時間もかかることから、
コンサルなども活用頂きながら検討されると良いかと思えます

主要会員の取組について
～ 不二サッシ(株)の取組 ～

- リサイクル率70%、100%アルミ型材 (Reサッシ R100) の2製品について2025年度に「SuMPO EPD」を取得
- グリーンアルミ型材「Reサッシ グリーン」でも取得予定



Reサッシ R100

低炭素(リサイクル) × サークュラー
エコノミー

市中回収および社内リターンによる
リサイクルアルミで製造した型材

原材料～製造段階のCO₂排出量は型材1kgあたり2.9kg-CO₂eq

CO₂削減率は **81%**



最終製品状態
(型材はガラス・部品除くフレーム部分)

この環境情報のために
EPDを取得



SuMPO-EPD-2512-47-1

• EPDを取得する理由



お客様が購入する
製品のCO₂排出量
などの環境価値を
保証したい
= 競争力確保



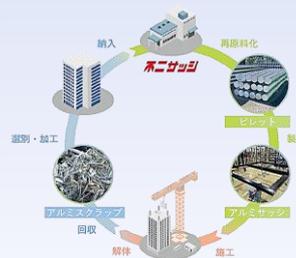
建築物LCA制度で
求められる対応に
直結する
= 変化の先取り、
社内対応力強化



• 取得後に実感した効果



お客様からの製品
CO₂排出量に関する
問合せに対応
= 第三者保証による
安心感



優れた低炭素建材
として営業展開、
新規取組の採用にも
貢献
= 事業の成長戦略

- 社内体制、初取得の際の所要期間・コスト



- 何に苦勞したか

データの選別、
根拠付け

LCA、EPD申請
の各ルール理解

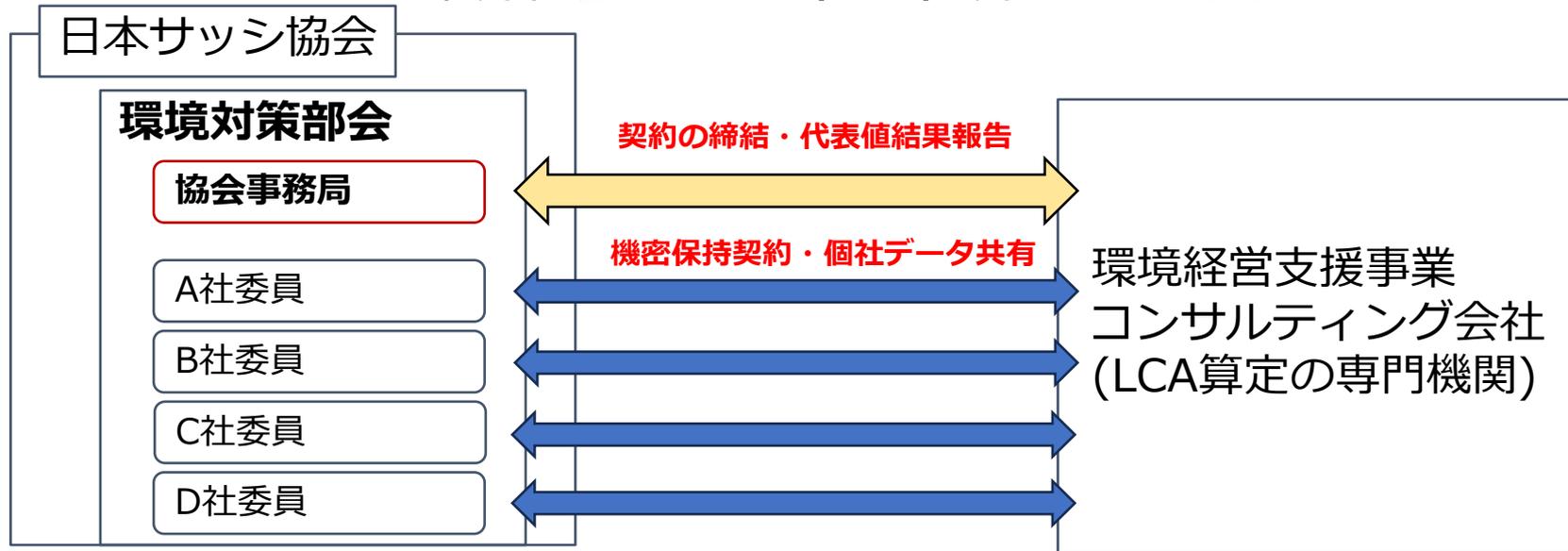
申請書と計算
ツールの併用

- これからEPD取得される方へ

- ① 一から十まで自力で挑むと時間がかかる
- ② 申請書とは別に整理用の資料があると良い
- ③ 検証・レビュー段階でも申請書は修正可能

日本サッシ協会での取組について

業界代表データ（CFP）算出への対応



- 現在、業界代表データとして、中間財である「アルミ製形材」、「樹脂製形材」のCFP（第三者認証なし）算定を環境経営支援事業のコンサルティング会社を通じて進めている。
- 協会事務局はコンサルティング会社との契約の締結や代表データの結果報告を担う。
- 個社データは協会内では共有せず、各社がコンサルティング会社と個別に機密保持契約を締結する体制をとっている。
- 各社より選出された環境分野のエキスパートが委員として参画し、かつ週次で打合せを行う必要があった。

まとめ

1. 算定・ガイドラインの整備

- 「窓・サッシ」に関するPCRは既に策定しており、これに基づき会員各社におけるEPDの取得を開始している。
- 現在、中間財である「アルミ製形材」、「樹脂製形材」のCFP（第三者認証なし）算定を進めている。
- 今後は、経済産業省・環境省の「CFPガイドライン」に従って、製品別の算定ルール策定を推進していく。

2. その他

- EPD・CFPなどの原単位整備を推進するためには、業界団体による枠組み作りと、関係各社における活動の双方が重要であり、連携を図り、取組を推進する必要がある。

ご清聴ありがとうございました。

